

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

2月号
平成9年(1997)
NO.483



みんなが歩きやすいように

雪が降り積もった早朝は、大暮山分校の上級生たちによる昔ながらの「かんじき」で雪を踏み、自分たちの通学路を確保することから始まります。

「子どもたちの健全育成」

●広報座談会

健やかな子どものための 育成のためには

◎出席者 藤原光雄さん／柴田良子さん／鈴木たかさん／貞神りんさん

経済の発展や社会の変動により都市化や核家族化が進み、それに合わせたように、子どもに対する家庭の教育力や地域での教育力の低下が問題となっています。

そこで今月は、子どもに携わる機会の多い方に集まつていただき、子どもたちの現状と課題を話し合つていただきました。子育て中のお父さん、お母さんはもちろんのこと、地域挙げて取り組まなくてはならない「子どもたちの健全育成」について考えてみました。

●司会 社会情勢の変動により都市化や核家族化が進み、子どもに対する家庭の教育力や地域での教育力の低下が大きな問題となっています。

話を合つていただきます。

はじめに、子どもたちの問題行動と、その原因についてお願ひします。

●藤原 私は、青少年育成町民会議の会長をしています。

寒河江警察署管内において、深夜徘徊で補導された子どもの自宅に連絡をすると、ほとんどの人々が、「部屋で寝ているの



議員室



●司会者 奈良崎美雄広報委員
(48歳・大滝)

広報座談会

(子どもたちの健全育成)

家庭・学校・地域が連携した子どもの育成が最も大切

藤原 光雄さん

69歳・本町
昭和58年より青少年育成町民会議会長に就任



で間違いだ」と言うそうです。
「部屋に入るか確認してください」とお願いしてみると初めて子どもがいないことに気が付く
うです。子どもにとつて勉強が一番大切であるとしてしまつたために、部屋に入るとそれだけ安心してしまい、本当の意味での子どもの姿が見えていたと思われます。

●鈴木 私は、電話教育相談を毎月七のつく日の午前九時から午後一時まで行っています。県内の子どもたちの状況をおもいません。

先程、藤原さんからも話がありましたが、子ども部屋に閉じこもって部屋から出てくるのは、食事とおふろと学校だけという子どももいるそうです。これでは全く「個」としての存在だけ社会性が身につきません。子どもを尊重するあまり、他人と協調できなくしてしまっているようです。

確かに、身についていない子どもは、自然に多いと言われています。昔は兄弟が五、六人もおり、自然につけが身についていない子どもが多いと言われています。昔は社会のルールが身につきました。現在は兄弟が少ないので、親がしっかりと教えなければなりません。

話ししますと、不登校は平成四年をピークに平成六年まで減少しましたが、平成七年から増加傾向がみられます。問題行動は、中学一、二年生と小学生に増加しており、低年齢化と万引きの増加が特徴的です。

一般に問題を起こす子どもは、家庭での基本的な生活習慣やしつけが身についていない子どもが多いと言われています。昔は兄弟が五、六人もおり、自然につけが身についていない子どもも多いと言われています。昔は社会のルールが身につきました。現在は兄弟が少ないので、親がしっかりと教えなければなりません。

しかし、最近私が気になつてるのは、子どもたちが罪を犯しても罪悪感を示す親が少なくなったことです。万引きを例にすると「万引きした物のお金を払えばいいだろう」とか、他人のせいにして罪を認めたがらない親が多くなった気がします。それからは決して万引きをしないようになります。親自身が「悪いことをした」ということを身に謝っている姿を見せれば、両親と子どもがお店に謝りに行き、子どもの前で両親がお店の人間に謝っている姿を見せれば、のせいで罪を認めたがらない親が多くなった気がします。

子育ては両親で。子どもの小さなシグナルを見つけられる親子関係に

柴田 良子さん

47歳・大町
平成6年より主任児童委員に就任



●貞神 私は昭和三十四年より保護司をしています。保護司とは、保護監察者が再び犯罪を起さないように更生を手助けすることを目的としています。県内市町村から比べ朝日町は保護監察者が少なく、現在は一人もいません。

いるのは、子どもたちが罪を犯にはならないのです。誰にでも過ちはあります。最初の対処なったことです。万引きを例にすると「万引きした物のお金を払えばいいだろう」とか、他人に迷惑をかけたときには、大人は子どもの苦しい歪んだ心に気が付かなかつたということで責任があります。自分が起こした過ちとして子どもと一緒に謝罪しているその姿を見せなくてはいけません。こういう時こそ、親子が太い絆で結ばれていることを子どもに理解させるときだと思います。

●柴田 主任児童委員制度が平成六年一月より設置され、発足より委員となっています。民生委員と同じですが、児童福祉を専門に担当しています。

最近、保育園などを巡回して感じることは、働くお母さんが増えたことなどから、お母さん自身に時間の余裕がなく、ゆったりとした気持ちで子育てが行われていない感じがします。根本的な家庭のしつけをおろそかになっている子どもたちが増えているのではないかでしょうか。また特に小学生ですが、習いごとやテレビゲームなどにより室内にいることが多く、外に出ていることが多いことを体験すること

広報座談会

(子どもたちの健全育成)

● 藤原 子どもたちに社会性を薄れてきており、指示やマニアルがなければ何もできない若者があが増えていくと言わかれています。うとこころから学ぶたくましさなどが無くなつてきたことは、大きな問題ではないかと思います。

● 司会 次に、子どもたちを健全に育成していくためにはどのようにしていけばいいのでしょうか。

●柴田 子育てをお母さんまかせにするのではなく、お父さんにも関心をもつて欲しいと思います。そして、親がしつかりと子どもを見て、親子の対話を持つことが大切であり、子どものできる親子関係を保つてほしいと思います。

また、他の人を思いやる心を小さい時からはぐくむことが大切だと思いますので、ボランティアの機会などがあれば、参加するよう勧めてもらいたいと

A black and white portrait of Kida Gumi, a woman with short dark hair and glasses, wearing a patterned blouse. She is looking slightly to her left with a gentle expression.

も自分の子どもと同じだと読みやるような社会づくりが必要だと思思います。ある時、空き地を四五人の小学生が掃除をしていました。「何をしてるの」と聞いたから「私たちが遊んでちらかしたんだ」と答えたのです。私は「えらいねえ」とほめました。その後、それぞれの家にも連絡をしてほめて頂くように話をしました。家族が知らない子どもの姿は、地域の人々が認めてあげて、子どもたちが地域や家庭、学校で役に立つてゐるという存在感を持たせることが大切だと思います。

温かい家庭づくりが
基本、子どもの心の
居場所を家庭内に

すずき 鈴木 たかさん
66歳 西町
平成7年より教育相談員に就任



す。人と人との付き合いが学校の中だけで行われるという環境から、地域などで子どもたちが交われるようになることが大切であり、子ども会活動などはとても良いことだと思います。そして自然の中での遊び方を知らない子どもたちが増えているので、野外活動などが必要であり、それらの体験から学ぶことの重要性是非常に大きいと思います。

また、地域で望ましい活動としては、子どもや親、老人といつたいろいろな人とのふれあきの場を設けなければならぬのではないかと思います。

「親の背を見て子は育つ」と思ひます。 いう言葉をもう一度よく考えて、いかなければならないのではないでしようか。

● 鈴木 やはり温かい家庭づくりが何よりも大切です。子どもの心の居場所が家庭内になければならないと思います。相手の気持ちを理解し、苦しみや悲しみを分かち合える気持ちは、家庭の中で育てられるものです。それにはまず、心の通つた人間関係が必要です。子どもの主張を認め、話し合いによつて実現できるようしていく親子関係を育ててほしいです。

学校では、いじめに對して子どもの小さな変化にも気が付く包容力のあるカウンセラー的教師が必要であると思います。

4



親と子のふれあいがゆるぎない絆となる（写真は秋葉山交遊館で行われたお正月しめ飾りづくり）

子どもの変化に気を配つていなければならぬと思います。

家庭は人間として生きるモラルを身につける場所ですから、物事の善いこと、悪いことをしつかりと教えなければなりません。善いことをしたらほめてあげる、悪いことをしたら叱るということを、時を逃さずに教えることです。

また、どんな子どもにも得意なことがあつたり、その子だけがやれることがあるはずです。

一度きりの人生ですので、可能性を伸ばしてあげるようにしていただきたいと思います。

●司会 ありがとうございます。やはり活発な成長期の子どもたちには、生き生きと熱中できることを引き出してあげること

◆平成8年度 青少年健全育成標語受賞作品

◎最優秀賞 鈴木 晴美さん（朝日中二年）
「ちょっと待て それでいいのか自分の行動」

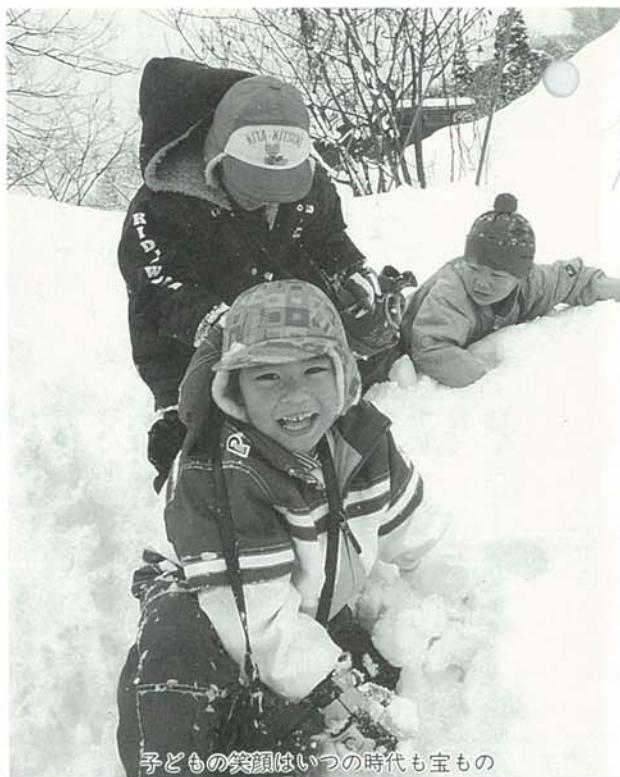
◎優秀賞

- ・小学生の部 大類 淳子さん（西五百川小三年）
「かくしても からならずわかる わるいこと」
- ・中学生の部 熊谷亜岐江さん（朝日中一年）
「忘れていませんか ありがとうございます ごめんなさい」
- ・一般の部 遠藤 純子さん（栗木沢）
「愛の声かけて伸ばそう地域の子」

【応募数 小学生の部64点・中学生の部113点・一般の部20点】

とが大切であるようです。それにはまず家庭が子どもたちの安らぎの場になるように、親子がよく話をし、子どもの小さな変化にも気をつけ、誰が何と言おうと親は子どもの味方だというゆるぎない安心感を持たせるこ

とが大切だと感じました。二十世紀を担う大切な子どもたちです。我々大人が、みんなで育っていくという気持ちを持つ必要があります。本日はありがとうございました。



子どもの笑顔はいつの時代も宝もの

上寿(100歳以上) 3人
白寿(99歳) 3人
米寿(88歳) 51人



藤澤ひて乃さん (杉山・白寿)



長岡といさん (太郎一・白寿)



長岡スイさん (大谷四・白寿)

年の初めに

長寿を祝う

五十七人に賀詞と記念品贈呈

年の初めの一月七日、町内の長寿者に恒例の賀詞と記念品の贈呈が行われました。

この日は、清野町長はじめ関係機関代表者五人が上寿者三人、白寿者三人、米寿者五十一人の計五十七人の自宅を訪問し長寿を祝いました。

今年めでたく九十九歳になられた藤澤ひて乃さん(杉山)は、「百歳まで元気で寝たきりにならずに生きることが私の目標です。好き嫌いなく何でも食べ、歌を歌つたり、おしゃべりをすることが長寿の秘訣です」としつかりとした口調で話してくれました。

上寿、白寿、米寿を迎えるたの方々は次のみなさんです。

(順不同・敬称略)

●上寿者 志藤きく(川通)/鈴木はつよ(前田沢)/佐藤きく(和合平)

●白寿者 藤澤ひて乃(杉山)/長岡スイ(大谷四)/長岡とい(太郎一)

●米寿者 浅岡きよ江(西町)/(明鏡荘)

柴田きよ江(西町)/笹原潔(助ノ巻)/布施クニ(大町)/多田つね(大町)/鈴木要作(前田沢)/熊谷はつゑ(前田沢)/佐藤悌三郎(新宿)/石塚茂二(四ノ沢)/伊藤栄助(四ノ沢)/清野清吉(四ノ沢)/柏倉まさ(ふれあい荘)/佐藤ヨシエ(小原)/清野もと(小原)/菅井いせの(沼向)/鈴木三左工門(沼向)/清野治右エ門(古柳)/清野藤三郎(送橋)/相座栄太郎(送橋)/岡崎チヨ(水本)/齋藤たまを(杉山)/大井せい(常盤)/長岡弥一(常盤)/長岡かの(常盤)/井澤兵太郎(夏草)/ 笹原きぬゑ(長沼)/海野たけの(西船渡)/長岡藤太(太郎一)/村山シユ(太郎二)/後藤つるの(太郎三)/阿部喜七(松程)/鈴木清七(今平)/渡邊ちやの(大谷一)/渡邊英(大谷二)/佐々木金蔵(大谷二)/鈴木藤藏(大谷二)/白田イセノ(大谷三)/小野ゆきゑ(大谷三)/白田はな江(大谷四)/白田幸太(大谷六)/白田トヨ(大谷六)/川村ちよ(大谷六)/堀よ志ゑ(大谷七)/堀與藏(中沢)/武田武雄(真中)/遠藤石太郎(栗木沢)/最上いまよ(大沼)/鈴木幸一(大暮山)/佐藤カツエ(明鏡荘)/阿部義一

藤澤ひて乃さん(杉山・白寿)、長岡といさん(太郎一・白寿)、長岡スイさん(大谷四・白寿)、長岡といさん(太郎一)、米寿者浅岡きよ江(西町)、(明鏡荘)に贈呈されました。

町民の声特急便コーコー

町民のみなさんよりお寄せいたご意見・提言を紹介します。

送信所から町全域に送信を開始できる見込みがあるのかお聞きします。
稻村浩幸(夏草)

左 沢方面に通学している西部地区の学生は、帰宅時に乗る山交バス発車時刻の変更に伴い、町路線バスの発車時刻と五分から十分の時間差が生じ、乗り継ぐことができない現状です。

発車時刻の調整をお願いします。
稻村幸子(常盤)

町路線バスの発車時刻は、町民や関係小・中学校、山交バスとの連絡などを取りながら、路線バス運営委員会で決定していますが、限られた本数ですので理解をお願いします。

四月の発車時刻変更時には、善処の方向で検討させていただきます。

企画課

くらんばテレビジョンが、

フジテレビ系民放第四局と

採択についても要望をしていくべきと考えます。

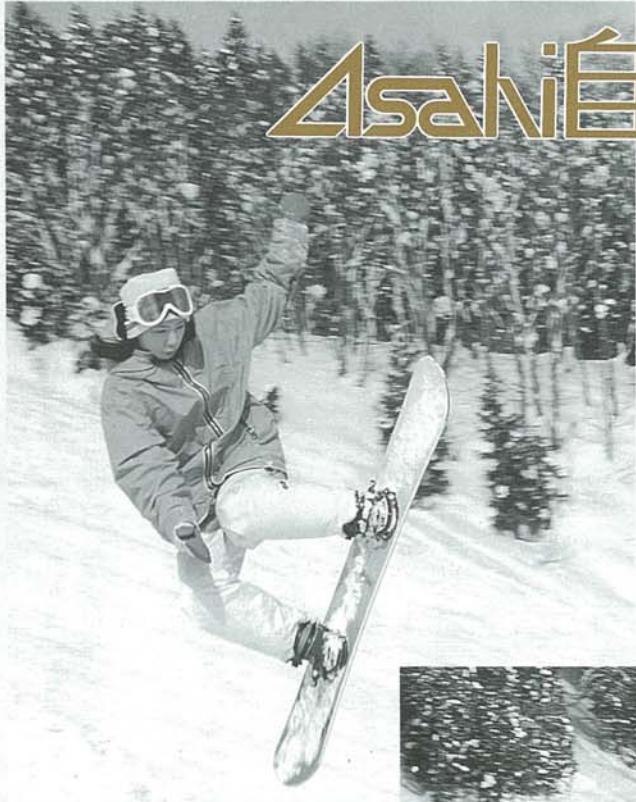
して平成九年四月に開局します。先日から断続的に試験電波を流しているようですが、町内では北部地区を除き難視聴地域になります。

開局までに、館山の朝日中継

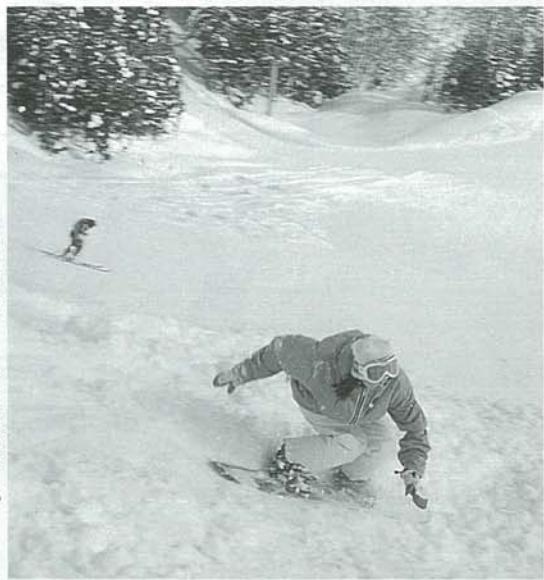
送信所から町全域に送信を開始できる見込みがあるのかお聞きします。
稻村浩幸(夏草)

なお、本紙八月号で特集した有線テレビ「CATV」が町全域で整備されることになれば、各家庭の受信アンテナは不要となり、全戸でフジテレビ系の視聴も可能となります。

企画課



Asahi自然観スキー場



▶見事にきまつた大ジャンプ
このスリルがたまらない



▶なかなか絵になる

本格的なスキーシーズンを迎え、土曜・日曜ともなると大勢のスキーヤーやスノーボーダーが訪れる朝日自然観スキー場。初心者から上級者まで楽しめる五つのゲレンデ(八コース)と、今シーズンから新しく登場した、とってもお得なワープテー日帰りパック(平日)とレディース&シルバーエンズテー・パック(水曜日)が人気となっています。今月のカメラさんぽは、若者に大人気のスノーボードにスポットを当ててみました。

スノーボードに
大人気



▲雄大な景色を眺めながら

▼ホテル自然観めがけてジャンプ



▲長井市から滑りにきたボーダーたち

「近い、安い、うまいの三拍子がそろった朝日自然観は
オレたちのホームゲレンデです」と大好評

▶親子ボーダーもすてきです



みんなのひろば

このひろばはみなさんのページです。
話題や意見、作品など、ご自由にお寄せ
ください。

■連絡先 役場総務課文書広報係へ
☎67-2111 (内線216)



小野 武夫さん
登貴子さん
大谷七／



さくやま
新嫁さん

同じ会社に勤務し、採用と同時に武夫さんの仕事を引き継ぐことになった登貴子さん。二人の初めての出会いは、この引き継ぎ事務の時までさかのぼります。その仕事の内容は、コンピュータ管理や伝票処理といった生産管理部門で、会社の経営状況をチェックする重要なセクション。しかしながら、その陰ではお互いのチェック機能も十分はたらいていたようです。「プラスとマイナスがお互いに引き合うように、ごく自然に付き合いが始まったんです」と笑顔いっぱいに語ってくれました。

以前テレビで見た土笛に感動し、登貴子さんは是非見せてあげたいと新婚旅行はオーストラリアに決定。夜の洞窟で青白く満天に広がる神秘的な光景に、二人の心はそれまで以上に輝いたとのことでした。

武夫さんが「最高」と絶賛する登貴子さんの得意料理は“おでん”ということですが、おでんに負けないお二人のアツアツぶりが感じられました。

すてきな仲間たち

まだクラブ名がきまっています



(写真は2月1、2日に行われたスノーモービルに挑戦)

白銀の世界とスピードに魅せられて

雪国朝日町の真冬の厳しい環境をものともせず、スピードに乗りながら果敢に雪の壁を攻略していくスノーモービルに取り付かれた仲間たちです。乗るならば地元で楽しみたいと、夏場は高田山などを下見しながら、コースを選定しチャレンジしています。降り積もった新雪の中、白い息を吐き悪戦苦闘しながらも、雪煙を上げ雪原を駆け抜ける快感。アップダウンの起伏に富んだギャップを体で受け軽快に疾走していく喜び。スポーツとしてのライディングの楽しみと同時に、自然の美しさや誰ひとりとして足を踏み入れていない白銀の世界との出会いなど、楽しさがいっぱいです。まだ始めたばかりでクラブ名も決まっていませんが興味ある方は声をかけてください。(代表 登坂☎67-2458)



せんせい
さゆり保育園
あ・の・ね

- | | | |
|------------|----------------------|-------------------------------|
| 園児 E
がや | 「いと」つて言うなんね | （おもち給食で納豆もちを食べ
ている時に 4歳児） |
| 園児 D
ペ | 「黒くないがらしら毛だ
の毛だべ」 | 園児 A 「納豆のひも、はしにつ
いてじゃまになる」 |
| 園児 C
べ | 「クモいねもの納豆の髪
だぜ」 | 園児 B 「ひもんねぜ、クモの巣 |
| 園児 B
べ | 「小さな声で」 | |

となりのリソソさん

作・ホリイ (98)



布施 哲也さん
(松 程)

ひとことトーク

スキーは 楽しくなくちゃ~ね

～朝日自然観で開催された
県スキー技術選手権で健闘～

この大会に出場しようと思つたのは、出場選手が学生時代の競技経験者やスキースクールの先生が多いなかで、サンデースキーイヤーである自分の滑りがどこまで通用するのか、実力を試したい気持ちからでした。

地元開催なので、コースや雪質に慣れている反面、精神的なプレッシャーもあり、緊張感をコントロールするのに苦労しました。

結果は目標順位に届きませんでしたが、自分の力を精一杯発揮しました。これから目標は上位入賞し、全日本の技術選手権に出席することですが、自分のモットーである「スキーは楽しく」の気持ちを忘れずに練習したいと思います。

自然観は技術選手権が開かれるほど良いスキー場です。みなさんも滑りにきてください。



遠藤幹士くん(1歳・舟渡)
(両親は衛さん・由美子さん)



志藤友美ちゃん(1歳・元町)
(両親は進さん・明子さん)



佐藤智之くん(2歳・和合平)
(両親は秀爾さん・真理さん)



白田瑞紀ちゃん(3歳・大谷一)
(両親は運吉さん・千賀子さん)

「笑顔がいいね」

美姫ちゃんのキレチ工房に おじゃまします



キムチ商品のいろいろ



冬期間は夫・正廣さんも仕込みを手伝う



社長 渡邊 美姫さん
趣味 旅行

朝日食品

朝日町大字送橋45
電話 67-7352

▼工房を始められたきっかけを教えてください。

よくわかる「スマートフォン」入門

高齢者とエコミュージアム

本格的な販売から三年目を迎えた。ただ辛いだけでなく、甘さとコクがあると好評のようです。冬はキムチ鍋にして食べているようです。

▼これからのお目標をお聞かせください。

全て手づくりなので手間がかかるますが、これまでどおり一つひとつを丁寧に丹精込めてつくりたいと思います。

▼美姫ちゃんのキムチの特徴は、
主な材料（唐辛子や魚のエキス、
ス、海草など）は韓国から取り
寄せていました。香辛料の唐辛子
は真っ赤な色の割りに甘みがあ
り、香りが高く、風味豊かに漬
け上ります。化学調味料は一
切使わず、自然調味料を十五種
類も使っています。ビタミンを
多く含み、低塩分なので自然食、
健康食として体に良い漬物です。

ました。日本のみなさんに本場仕込みのキムチをぜひ一度味わつていただきたいと思い、農作業所を加工所に改造し、本格的にキムチの製造販売に取り組むようになりました。

大夕カタ文字を侏うどん
しても分かりにくいといったこと
が言われ、特に高齢者の方に
多いのではないでしようか。身
近な物事と併せて考えてみると
いろんなことが見えてきます。

ジアム（博物館）を合わせた新しい言葉で、博物館という建物ではなく地域の生活、自然、文化などを現地で保存、育成し活用していく全く新しい博物館といえます。この考え方を一言で言いいあらわすことは大変難しいことですが、「地域の人々の生活の向上や豊かな環境を守り育てて行くことを目的とした博物館」と訳している研究者もいます。

「エコミニージアム」という言葉は、フランスの博物館学者アンリ・リベル氏が提唱したエコロジー（生態学＝生物の生活に関する科学）とミュー

な財産ともいえます。ワラ細工、つるを使つたカゴなどの入れ物、農作業の手順、冬季間であれば雪降ろしや年末、漬物、乾物といつた保存の仕方、昔話、行事食など数えていけばきりがないほど出できます。



次の世代に受け継がれるつる細工

長岡 洋行さん(21歳)
本町・乙女座・O型
土地改良区勤務



- Q モットーは
何事に対しても前向きに、一生懸命に行なうことを常日頃心がけています。
- Q 趣味は何ですか
スキーです。友達とワイワイ楽しみながら滑っています。一度外国のスキー場で滑つてみたいですね。
- Q 休日の過ごし方は
ドライブかパチンコですね。パチンコは最近調子が悪くて、店に貯金をしています。
- Q 理想の女性は
笑顔の似合う素直で明るい人ですね。芸能人で言うと山口智です。
- Q 最後に一言
自宅の電話番号は六七一二八五五です。よろしく。



宇津野
佐竹麻奈美さん

(上郷小3年)

大樹くん

(上郷小6年)

佑斗くん

(6歳)

おじいちゃん
道雄さん

(67歳)

おばあちゃん
洋子さん

(65歳)



わたしたちのおじいちゃん
おばあちゃん

わたしのばあちゃんは、よくわらいます。でも、おじいさんもいます。おでこのしわをきゅっと上げて、まゆ毛を下げておこります。ばあちゃんがおこっているのを見ているとおもしろいので、わらうとばあちゃんもわらいだしてしまいます。

じいちゃんは、子どもたちに習字を教えています。つけ、とめのしかたをやさしく教えてくれます。

こんな一人が、わたしはとても大きです。—— 麻奈美

くらしの知恵袋 ⑧

風邪がはやっています。日頃から体をきたえ、規則正しい生活で風邪をひかないようにするのが一番ですが、もしもひいてしまった場合、少しでもその症状を軽くするため、昔から伝えられている民間療法を紹介します。

◎のどが痛いとき

- ・番茶を濃くだし、食塩を濃めに入れてうがいをすると効果があります。
- ・ニンニクのしぼり汁(5~10cc)にぬるま湯(95cc)を注ぎ、よく混ぜてうがいをします。ニンニク中の硫黄を含んだ成分は、のどに付着したばい菌を消毒します。しぼり汁をガーゼなどでのどに直接ぬるともっと効果があります。(しみることもあります)

◎鼻水、鼻づまりに

- ・大根おろし大さじ2杯にネギのみじん切り大さじ1杯を加え、熱い番茶を注いで飲みます。大根おろしの軽い刺激性とネギのにおいには、鼻のとおりを良くする働きがあります。また、大根にビタミンCやでんぶん質を消化するジアスター酶も含まれているので、熱による体力の消耗にも効果があります。

昔から伝わる民間療法

平成石器ぞくぞく登場

石器づくり講習会



参加者全員が石器づくりに挑戦した

「日本一の石器づくり名人」といっしょに石器をつくろう講習会」が一月十九日、町中央公民館で開かれました。

この講習会は、町教育委員会と町エコミュージアム研究会などが主催となり開催したもので、日本一の石器づくり名人といわれている群馬県笠懸町の岩宿文化資料館の松沢亜生館長を講師に迎え行されました。

当日は、町内の小学生と親など約三十人が参加。材料は立木地区から多く産出する「硬質泥岩」を使い、丸い石でたたき割る原始的な方法で石器を作成しました。石は斜めに亀裂が入る性質を、

資料館でも石器づくりを指導する松沢館長は「石器づくりを体験することで、石器を大切にする心をはぐくんでください。でも、今日つくった石器は土に埋めたりしないでね」と話され、参加者らは思わず笑みをこぼしていました。

参加した松田和法くん（西五百川小五年）は「うまく石を割ることができなかつたが、手づくり石器でむいたリンゴはとてもおいしい」とほお張つていました。

トップデモのハイレベルな戦い Asahi自然観で県スキー技術選手権



県内トップのスキーデモンスト레이ターらが一堂に集い、基礎スキーの技術を競う第18回県基礎スキー選手権大会が1月28日、29日の両日、朝日自然観スキー場で開催されました。

同大会は、全日本スキー技術選手権大会の予選会を兼ねて行われたもので、男子76人、女子8人の計84人が参加。出場資格はS A J 1級以上というハイレベルな大会で、急斜面での小回りやウエーブなど7種目で競い合います。

朝日町からは、自然観スキークラブ所属の布施哲也選手（松程・24歳）と遠藤直裕選手（舟渡・24歳）が出場し、布施選手が44位、遠藤選手が51位の成績となりました。遠藤選手は「技術の未熟さを痛感しました。来年も地元で開催されると聞いていますので、地の利を活かし練習に励みながら順位を一つでも上げれば」と早くも来年に向け抱負を語ってくれました。

小正月の一月十五日、町内各地で御柴灯が行われました。

御柴灯とは、正月の松飾りや書き初めなどを焼く火祭りの伝統行事で、その火で焼いただんごを食べれば、年中の病を除くとされています。

平成六年から全区民あげての御柴灯を行っている栗木沢地区では、区民全員の健康と安全を祈願し、花火七発が打ち上げられました。参加した区民らは、冬の夜空に打ち上げられた色鮮やかな花火と、勢いよく燃え上がる柴火の競演に感動していました。

1月15日

年内の無病息災を祈り 各地で御柴灯が開催



全区民が集まつた栗木沢地区的御柴灯

第46回全日本年賀状コンクール

三人が全国入選

者は次のとおりです。



阿部 高士くん
(大船木分校 3年)

菅井 航くん
(和合小学校 3年)

菅井 亮太くん
(和合小学校 4年)

郵政省が主催する第四十六回全日本年賀状コンクールが開催され、町内の子供たちの作品が数多く入選しました。このコンクールは、全国の児童から大人までの作品約七万三千点が出品されたもので、小学低学年の部門で菅井航君(和合小3年)、阿部高士君(大船木分校3年)、小学校高学年の部門で菅井亮太君(和合小4年)の作品が全国入選しました。入賞

▼ 入選／菅井香菜(宮宿小2年)
▼ 入選／鈴木香菜(宮宿小2年)
▼ 入選／水本小学校
▼ 学校賞／水本小学校



転落防止のため手すりが新たに設置された

保育園
わかば

白鳥さんこんにちは！

今年も冬の使者“白鳥”が上郷ダムにやつてきました。わかば保育園では、白鳥にえさを与えるながら動物を愛する心をはぐくんで欲しいと一月二十三日、全園児五十六人が上郷ダムの白鳥エサ場を訪れました。

今年は最高で約二百羽の白鳥が飛来しましたが、現在は水面が凍りついたために約五十羽が羽を休めています。

園児たちは「白鳥さんこんにちは。たくさん食べてね」と間近で見る白鳥に大喜びでした。



出羽三山の山伏による祈願祭が行われた

商工業の発展を祈り商売繁盛祈願祭

町商工会主催による新春恒例の商売繁盛祈願祭が一月十二日、町中央公民館で行われました。

当日は、関係者約七十人が参加。出羽三山の山伏によるぼら貝が鳴り響くなか、鈴木商工会長らが玉串を捧げ、今年一年の商工業の発展を祈りました。

続いて「祖父からもらった私の宝もの」と題した、村山市樽石大学の松田清男学長の講演が行われ、「祖父から受け継いだ心の宝物を次の世代に伝えたい」と熱心に語りかけました。

石大学の松田清男学長の講演が

行われ、「祖父から受け継いだ心の宝物を次の世代に伝えたい」と熱心に語りかけました。



図書券が当たる



- 問1 右写真がある地区は
A 常盤 B 四ノ沢 C 中沢
- 問2 小正月の一月十五日に行われる伝統行事は「○○○」
た方は町内に「○人」
- 問3 今年めでたく上寿を迎えた方には町内に「○人」

【応募方法】(2月28日締め切り)
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で3の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。
【12月号の答え】りんご・役場・郷土
【応募者総数】38人
【12月号の当選者】佐竹沙織さん(八ツ沼)・佐藤やすさん(小原)・小林智代さん(大谷五)

